

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 樋口 修

山名	六甲山	山行名	六甲大池地獄谷コース			
ルート	神鉄大池駅 → (地獄谷コース) → 記念碑台 → (石切道) → JR住吉駅					
山行日	平成25年4月14日(日)	天候	晴			
参加者	リーダー：樋口 サブリーダー：遊佐 男性：秋月、片山、金本、北村、中田、西川、広瀬、守口、山口、山下 女性：玉井、西村 合計：14名					
ルート概略図	コースタイム					
	地名	時：分	地名	時：分		
	神鉄大池駅	集 発		記念碑台	着 発	12:15 12:55
	地獄谷入口	着 発	9:37 8:43	みよし観音	着 発	13:20 13:25
	第4堰堤	着 発	10:05	五助ダム堰堤下	着 発	14:45 14:55
	第4堰堤巻道降下下	着 発	10:40	JR住吉駅	着 発	15:40
	シュラインロード出合	着 発	11:55		着 発	
	五助ダム堰堤下			JR住吉駅		
	みよし観音					
	記念碑台					
	シュラインロード出合					
	第4堰堤					
	地獄谷入口					
	神戸電鉄大池駅					
山行報告	<p>今回のコースは、渡渉箇所が多数ある谷沿いのコースで、天候が気になっていたが、この1週間は概ね好天が続いており、本日も晴れで絶好の山行日和だ。</p> <p>大池駅を予定通り9時10分に出発、地獄谷入口の所で各自準備体操をし、地獄谷コースへ進んだ。入口付近は、「コバノミツバツツジ」が咲き誇っており、目を楽しませてくれた。</p> <p>地獄谷コースと地獄谷西尾根コースとの分岐の所に、「地獄谷コースは、まとまった雨の後は、増水し、通行不能になる」との看板が出ていた。この1週間は概ね好天が続いており、問題はないだろうと判断し、先へ進んだ。ところが、少し進み第4堰堤を登ると、堰堤の上流側に水が溜まっており、通行不能となっていた。インターネットで調べていた、ダム横の急登・急降下の高巻き道に行くか、引き返し地獄谷西尾根コースに行くか迷ったが、高巻き道に行くことにした。ベテランの山口さんの指導のもと、特に滑りやすい箇所には、ロープを張り、皆慎重に登り・降りをし、全員無事第4堰堤を越すことが出来た。</p> <p>第4堰堤を越えると、後は、小さな多数の滝を見ながらの快適な渡渉を繰り返す谷沿いのコースが続き、標識も多数整備されていた。予定より少し遅れ、12時15分記念碑台に着き昼食をとった。下りは石切り道を経て、予定より多少早く、15時40分にJR住吉駅に着いた。今回は、第4堰堤で問題が生じたが、参加者のご協力と山口さんの適格なアドバイスで、無事のりこえることができた。参加者の皆さんにお礼申し上げます。</p>					
ヒヤリハット	なし					

感想文

早春の裏六甲を楽しむ

遊佐 研治郎

六甲山は関西、とりわけ京阪神沿線に住んでいる人にとっては非常に親しみのある山でほとんどの人は一度は登っているのではないだろうか。私は社会人になって仙台から大阪へ出てきて以来これまでに数回は六甲登山を楽しんでいる。決して多い回数ではないだろうと何となく多少の引け目を感じている。

関西人にとって馴染み深い六甲山の語源は難波の地から眺めて「向こうの山」というところから武庫の山となり、六甲山となつたらしい（登山・ハイキング「六甲・摩耶」より）。四季を通して登山を楽しむことができ、岩峰、森林帯、高原、池沼、溪谷等が散りばめられており登山コースもいろいろあるようだが、私はこれまでいわゆる「表六甲」からしか登ったことがなかった。今回の例会では裏から表へ抜ける「六甲大池地獄谷」コースということで興味をもって参加した。

当日神戸電鉄「大池」駅まで電車で行きそこから登山を開始した。住宅地をしばらく歩きやがて登山道に出て約1時間ほど歩いたところで堰堤に出た。通常であれば堰堤を下って川を渡るのであるが、あいにく雪融け水(?)で川が深くなっていてここを渡るのを諦め、少し戻ってかなりの急勾配がある巻き道を歩いた。ここが今回のハイライトで、ベテランのYさんの適切なアドバイスをもらいながら、CLが持っていたロープも使い慎重に歩を進めた。ベテランの存在が光ったときでもあった。その後は小さな渡渉を何回か繰り返しながら新緑にはまだ早い早春の溪谷美を楽しみ正午過ぎ山頂の六甲ホテルに着いた。隣接する「自然保護センター」2階でランチする予定であったが、少し前から結構強い風が吹き出し寒さもあって、慌てて下に降りて道路わきでの昼食となった。

午後は六甲山ゴルフ場を横切り「みよし観音」から石や岩がごろごろしている石切道を歩いた。「みよし観音」は石碑によると昭和39年2月に徳島へ向けて大阪空港を飛び立った航空機が事故に遭遇し、21歳のスチュワーデス（今は客室乗務員というのだろうか）が7人の乗客を救出し、最後の1人を救おうとしたときに爆発が起こり尊い命を亡くしたのを悼んで建立されたとのことであった。道の途中に使い物にならない石が積み上げられているところが2、3ヶ所あり恰も石の墓場のような感じもした。ところどころに紫色の「みつばつつじ」の可憐な花を見ることができ心を和ませてくれた。午後4時前JR住吉駅到着し約7時間の山行は終り解散となった。私のケイタイの歩数は2万6千歩余りで10数キロの山歩きだったようだ。

今日の教訓は安全登山には必要なときにはベテランの経験と知恵を大いに活用するということである。CL、SLが判断に迷うとき同行者の中にベテランがおれば躊躇することなく相談して安全登山に努めることの大事さを改めて知った思いがする。



徒渉を繰り返す

地獄谷コース（中・上級者向き）

